

3 沿革

明治27年(1894)	安中半三郎、香月薫平らが長崎文庫を設立
〃 42年(1909)	小学校教員学力補充のため長崎県回覧文庫を設立
〃 45年(1912)	回覧文庫を基として6月1日県立長崎図書館を創立し、長崎市新橋町に開館(当時の蔵書2千4百冊)
大正 4年(1915)	長崎市上西山町(現在地)の交親館(県会議事院兼外賓接待所)を図書館として改修した後、この地に移転、併せて書庫を増築 この機に長崎文庫の図書を受贈
昭和19年(1944)	書庫を除く本館庁舎を軍部が接收、書庫内での閲覧業務に縮小
〃 20年(1945)	8月9日投下された原子爆弾により、本館庁舎西側が破壊 11月 書庫内で閲覧業務を再開 本館庁舎は県土木部と長崎地方裁判所が使用
〃 23年(1948)	6月 本館庁舎が返還され、原状復帰
〃 33年(1958)	4月 課制実施(総務課、資料課、奉仕課)
〃 35年(1960)	6月 長崎国際文化センター建設事業の一環として新館落成(鉄骨・鉄筋コンクリート3階建、書庫4層) 11月 自動車文庫を発足
〃 36年(1961)	8月 離島各市町村に11分館を開設
〃 43年(1968)	2月 明治百年を記念し、図書館4階増築による史料館建設着工 10月 史料館開館 郷土資料の運営・管理を行う史料課を新設 資料課を整理課に課名変更
〃 46年(1971)	4月 長崎県公共図書館協議会を設立 7月 長崎県地方史研究会発足
〃 48年(1973)	全館冷暖房を完備 長崎県図書館協会、長崎県読書グループ連絡協議会を設立
〃 51年(1976)	3月 3階閲覧室に開架書架(2千冊)を増設 (開架図書計1万7千冊)
〃 55年(1980)	書庫1・2層の積層式書庫を移動式書架に改造 (蔵書能力は10万8千冊増の45万8千冊)
〃 57年(1982)	3月 車庫新築
〃 59年(1984)	7月 郷土出身作家コーナー開設 〃 佐世保市に県北文庫を開設(平成10年3月まで)
〃 63年(1988)	4月 電算システム始動(ACOS3300/6)
平成 元年(1989)	9月 市町村とのオンライン開始
〃 3年(1991)	4月 郷土資料電算システム始動
〃 4年(1992)	9月 学校週5日制の実施に伴いこども室第2土曜日9時開館
〃 5年(1993)	4月 整理課を資料課に、史料課を郷土課に課名変更、庶務係を総務係に係名変更 10月 郷土資料研究室、展示室の毎週の閉館日を、日曜日から月曜日に変更
〃 7年(1995)	3月 新書庫(442.45㎡、15万冊)増築 4月 月2回の学校週5日制の実施に伴い第2土曜日に加え、こども室第4土曜日9時開館
〃 8年(1996)	4月 開館時間を9時30分に変更(こども室を除く)
〃 10年(1998)	3月 県北文庫を廃止

平成11年(1999)	3月	貴重資料保管庫新設 自動車文庫・分館を廃止
	4月	協力車の運行開始 奉仕課館内係を館内奉仕班に、館外係を普及協力班に変更、その他の課の係を廃止
	5月	長崎県公共図書館協議会を長崎県公共図書館等協議会に発展的改称
" 12年(2000)	12月	インターネットによる蔵書検索開始
	2月	雑誌・新聞コーナー改修
	4月	こども室の平日開館時間を9時30分に変更
" 15年(2003)	7月	長崎県大学図書館協議会と長崎県公共図書館等協議会間で相互協力協定書締結
" 16年(2004)	7月	施設内全面禁煙実施
" 17年(2005)	4月	「こどもの日」「文化の日」臨時開館決定
	9月	長崎学関連を中心とした明治期以前の郷土資料等約6万点を、長崎歴史文化博物館へ移管
" 18年(2006)	4月	祝日開館完全実施
	12月	長崎県・上海市友好交流関係樹立10周年を記念し図書展示コーナー「上海の窓」を設置
" 19年(2007)	2月	図書館情報システムを更新(電算機更新)インターネット用パソコン増設、ホームページリニューアル(横断検索、予約等新機能付加)
	3月	長崎県立図書館在り方懇話会が県教育長に「長崎県立図書館の今後の在り方について」を答申
	"	(財)長崎県教職員互助組合と「互助文庫事業に関する事務協定書」締結(9月から一般貸出を開始)
	11月	図書館協力車更新
	"	図書館利用者用駐車場を拡張
" 20年(2008)	2月	地域資料の一般貸出を開始
	3月	長崎県立長崎図書館古典籍目録刊行
	4月	地域資料(雑誌)受入開始
" 21年(2009)	3月	本館揚水ポンプ及び消火ポンプ改修
" 23年(2011)	3月	長崎県立図書館再整備検討会議が県教育長に「県立図書館再整備に関する提言」を答申
	"	障害者用トイレ等改修
" 24年(2012)	1月	図書館情報システムを更新(電算機更新)、ホームページリニューアル(順番予約等新機能付加)
	9月	創立100周年記念式典開催
" 25年(2013)	2月	創立100周年記念誌刊行
	3月	県教育委員会において「新県立図書館整備基本方針」を決定
" 26年(2014)		国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」利用開始(3月閲覧サービス、10月複写サービス)
	7月	県教育委員会において「県立・大村市立一体型図書館及び郷土資料センター」(仮称)整備基本計画を策定
" 29年(2017)	4月	県立・大村市立一体型図書館(仮称)建設着工